

「信頼のきずな」未来を拓く運動(全国運動)

(連携)

岩手県「信頼のきずな」未来を拓く運動 5か年計画

[平成22年度～26年度]

運動目標

安心のネットを広げ、農家・地域の未来を拓こう

行動スローガン

もっとフィールドへ！

運動主旨

新たな食料・農業・農村基本計画の下で、地域農業と農村活力の再生を目指す農家・地域の取組みを強力に支援し、併せて、それを可能とするNOSA Iの組織体制強化を通じて、地域とNOSA Iの未来を拓く運動とする。

このため、「災害による損失の補てんと損害の未然防止」というNOSA Iの主要機能を、地域のすべての農家及び多様な経営体に着実に提供することを目指し、役職員が生産現場に積極的に出向いて農家・経営体と対話する等、役職員の行動スタイルを全国ベースで進展させることとする。加えて、広報活動の一層の強化、関係機関・団体等との連携を通じて、「農家・地域とともに行動するNOSA I」の全面展開を推進する。

また、前運動の課題である全事業の完全引受け、リスクマネジメント(RM)支援等について引き続き取り組むとともに、農政の展開に即した事業運営により農家・経営体を支援する。更に、農政の推進や地域社会に対するNOSA Iの新たな貢献領域についても検討し、取組みを進める。

NSR(NOSA Iの社会的責任)取組み

「災害による損失の補てんと損害の未然防止」「コンプライアンス」といった社会的責任を果たすだけでなく、組合員・地域社会などNOSA I関係者を含めたNSR活動に取り組む。

- (1) NOSA Iの使命と責任を果たすために、内部統制・コンプライアンス態勢の強化、経営や自然災害等に対応したリスク管理体制の構築に取り組む。
- (2) 「災害による損失の補てんと損害の未然防止」というNOSA Iの基幹機能を、地域のすべての農家及び多様な経営体に提供することを目指し、役職員が現場に積極的に出向いて対話する等の行動スタイルを進展させる。加えて、広報活動の一層の強化、関係機関・団体等との連携を通じて、「農家・地域とともに行動するNOSA I」の全面展開を行う。
- (3) 全事業の完全引受け、リスクマネジメント(RM)支援等について引き続き取り組むとともに、農政の展開に即した事業運営により農家・経営体を支援する。また、農政の推進や地域社会に対するNOSA Iの新たな貢献領域についても検討し取組みを進める。

計画の基本方向

農政の展開に即した事業運営

事業運営基盤強化の拡充・強化

広報・広聴活動の拡充・強化

目標達成に向けた役職員の行動

運動推進方策

1

多様な経営体のニーズに即した提案型推進による引受目標の達成

目標管理
提案型推進の実行
水田経営所得安定対策及び戸別所得補償制度における対象品目の完全引受と全事業の引受拡大
引受率低位事業の改善
広報活動と一体となった推進
農家満足(FS)活動を基盤とした推進
関係機関・団体等と連携した推進
RM活動を付加した推進

3

共済部長等基礎組織の整備・強化

共済部長等基礎組織の維持・再構築に向けた取組み
共済部長が活動しやすい体制の整備
推進ソールの工夫と会議・研修会の運営改善
衛星画像を活用した損害評価方法の確立事業について、基礎組織の労力軽減など損害評価体制を検討

5

農家との信頼関係を確立する広報活動の強化

「全職員が広報マン」としての共通認識と事業一体となった広報体制の確立
広報媒体の効果的な活用
広報技術・プレゼンテーションの研鑽

7

地域農業・農村振興への貢献

地域貢献活動の展開
関係機関・団体等との連携

9

農家満足(FS)活動を基盤とした推進

FS活動の検討について取組み、PDCAにより引受拡大や支援の充実
日常の接点活動の中で農家ニーズを把握・検証し、事業・組織運営の改善等に活用

2

生産と経営を支援するRM活動の充実・強化

農家ニーズ等の把握に基づく効果的・効率的なRM活動
食の安全・安心、環境保全型農業を支援するRM活動
RM支援活動・生産支援活動の高度化に向けた態勢整備

4

事業運営基盤の強化

内部統制強化への取組み
コンプライアンス態勢の強化と実効性の向上
内部牽制機能強化への取組み
リスク管理の取組み
人材育成、役職員の資質の向上

6

国民や地域社会に向けた広報活動の展開

対外広報の積極的展開
農業や農家に対する理解の促進

8

全役職員による行動スローガンの実践

行動スローガン「もっとフィールドへ」の意識共有化と新たな行動スタイルの確立
事務省力化・業務効率化による外務活動の充実